

監査報告書

令和5年5月19日

社会福祉法人向陽福祉会

理事長 山口 直子 殿

監事 永野 卓美



監事 萬谷 正樹



私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

③ 向陽福祉会の現状

令和2年に1月新型コロナ患者が報告されてから3年が経過し、令和5年5月8日に「5類移行」となり、ひまわり苑は黒字回復、向陽苑、りんどう苑は赤字縮小と懸命な対応を続けていますが、補助金と保険金に支えられている一面もあり、依然として厳しい状況が続いています。また、職員の採用が困難な状況も続いており、施設職員に過度な負荷がかからないような対応が求められるところです。重症化が減少しているとはいえ、コロナ禍が収束するまで可能な予防対策は実施しています。

以上